

経営比較分析表（平成29年度決算）

兵庫県北播磨総合医療センター企業団 北播磨総合医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	33	対象	ド透I訓ガ	救臨地輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
-	38,109	非該当	7:1	

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
450	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	450
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
440	-	440

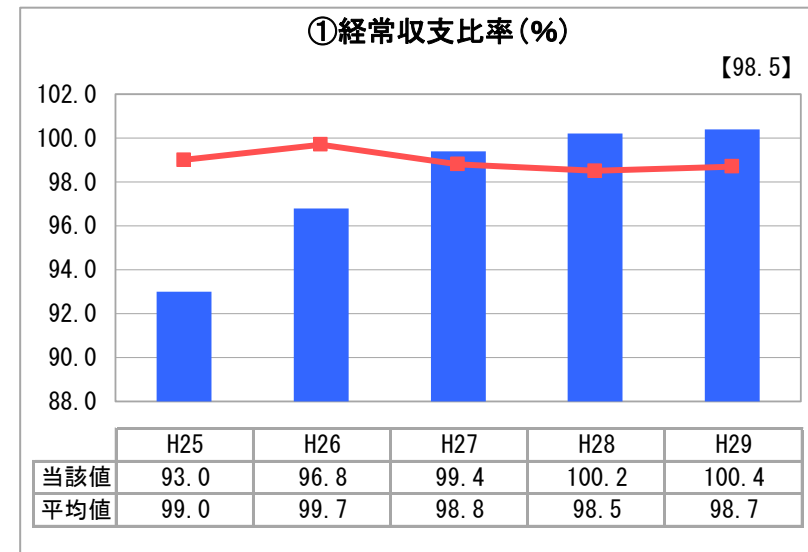
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

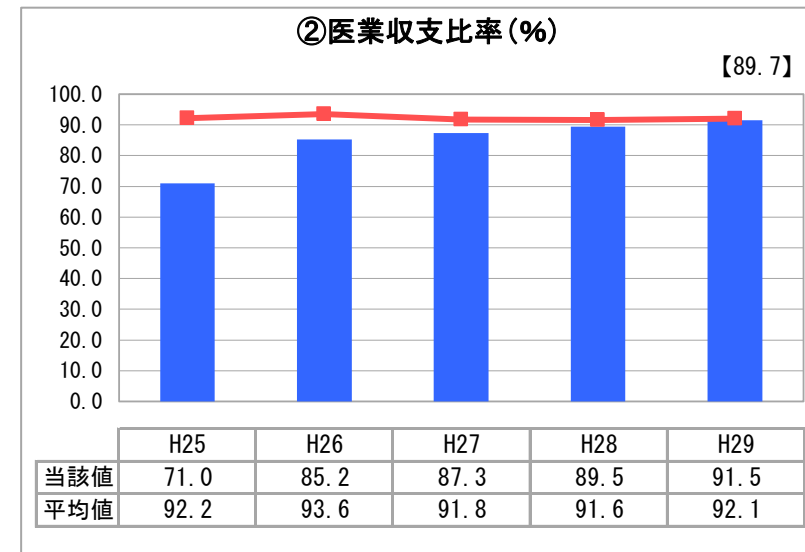
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

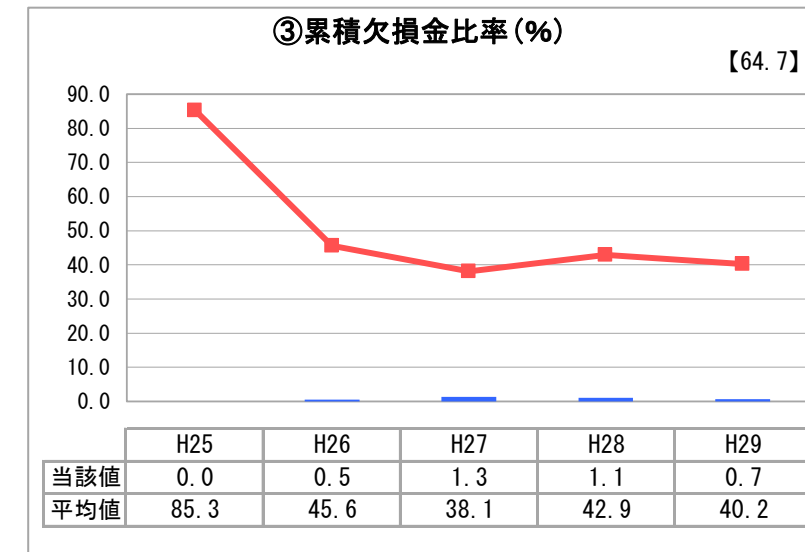
1. 経営の健全性・効率性



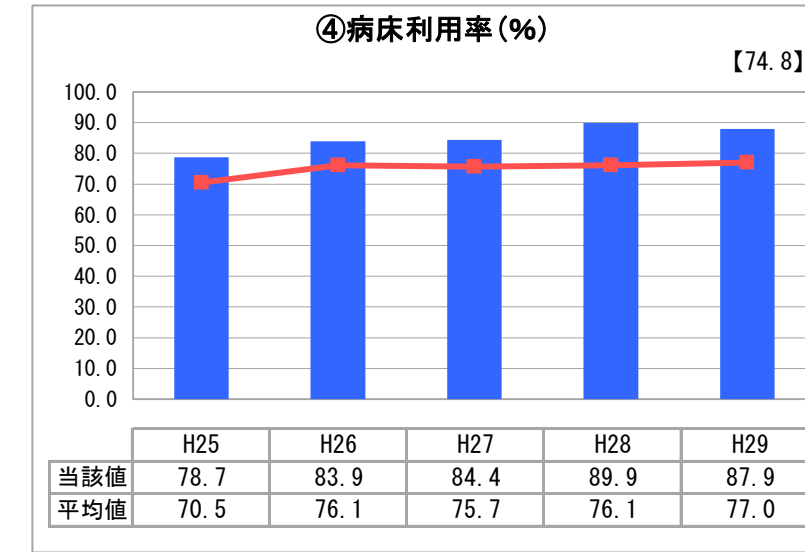
「経常損益」



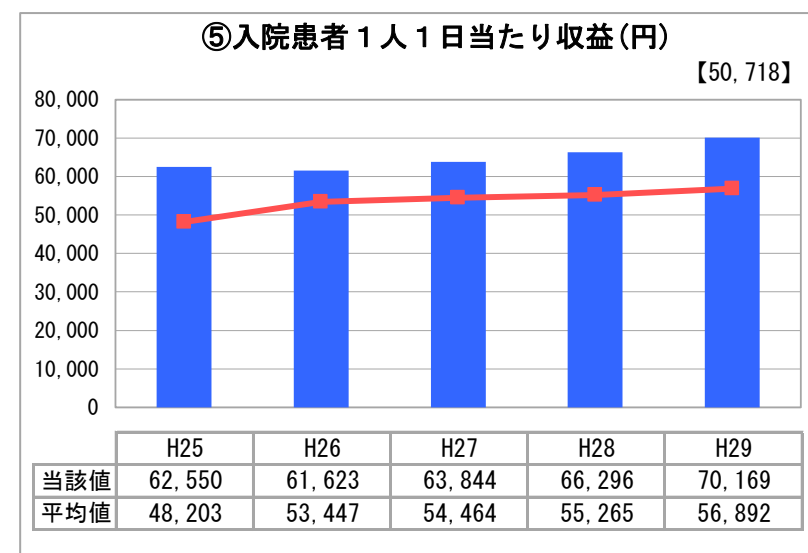
「医業損益」



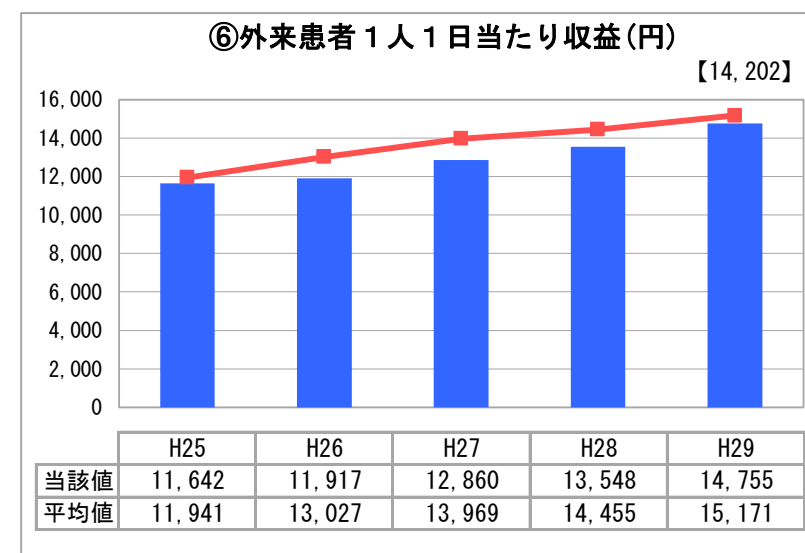
「累積欠損」



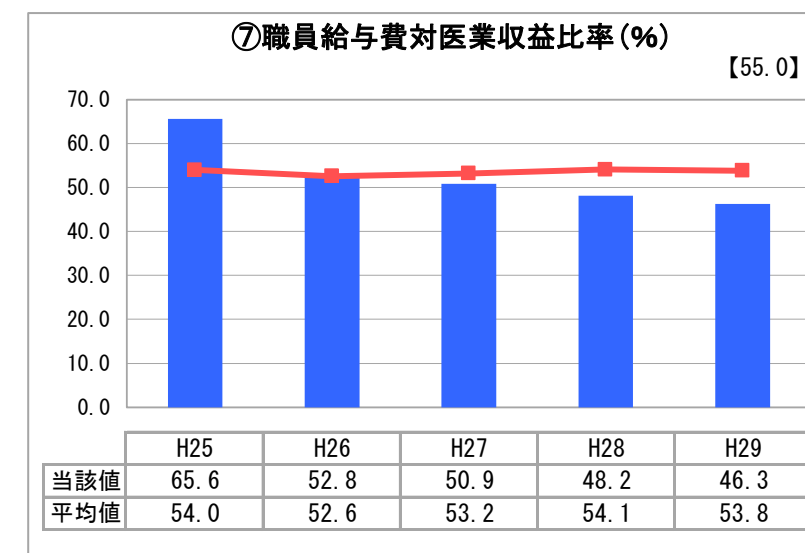
「施設の効率性」



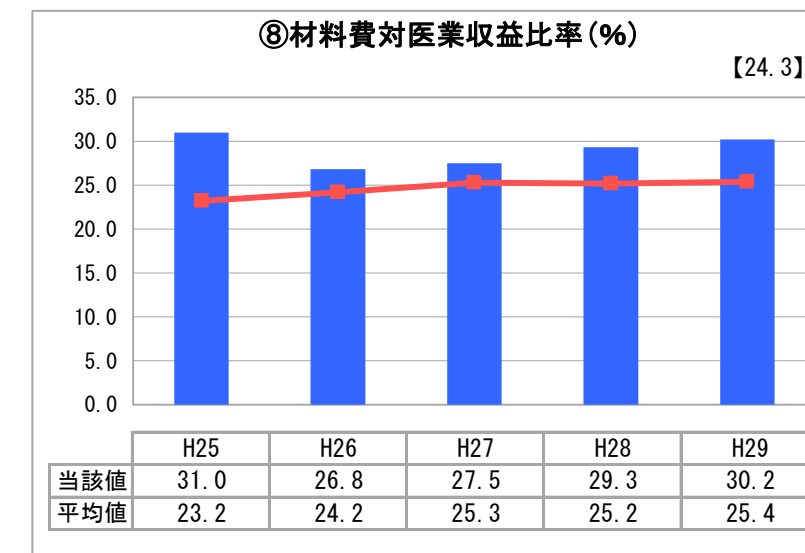
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

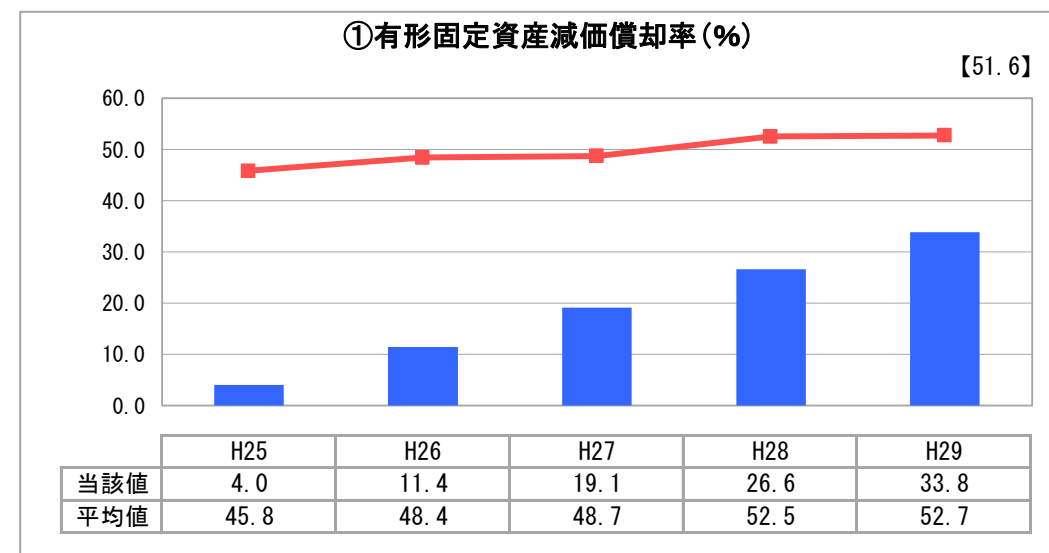


「費用の効率性①」

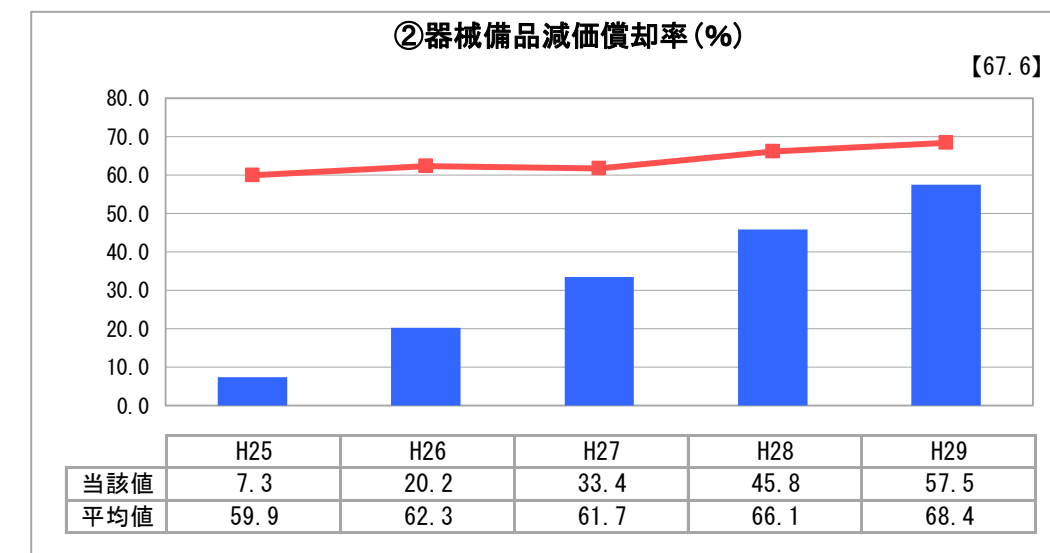


「費用の効率性②」

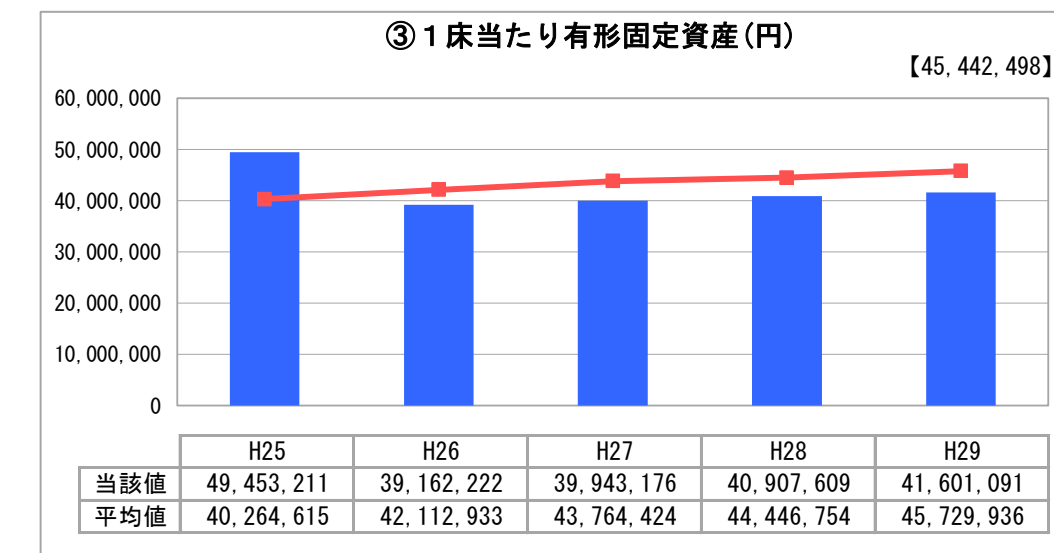
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

地域の基幹病院として急性期医療（ER救急、小児救急、急性心疾患、周産期）を担うとともに、専門的で高度な医療の提供を行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

開院以降、患者数の増加及び入院・外来単価の向上により医業収益が増加している。費用面では医業収益に対する材料費の割合は、類似病院の平均値よりも高くなっているが、単価引き下げに努め、職員給与費の割合も年々改善され、類似病院の平均値よりも低く抑えられた。その結果、経常収支比率、医業収支比率ともに年々上昇し、総収支は前年度に引き続き2年連続の黒字となり、累積欠損金比率は改善されている。

2. 老朽化の状況について

器械備品、その他有形固定資産は平成25年開院時に取得しており、有形固定資産減価償却率および器械備品減価償却率は年々増加している。また、1床当たりの有形固定資産額は、類似病院の平均値よりも低い状況にある。

全体総括

入院・外来患者数及び診療収入は、順調な稼働を受け年々増加し、平成29年度は総合入院体制加算の届出等による収益確保や材料費の単価引き下げなどによる経営努力の結果、2年連続で経常収支、総収支ともに黒字となった。今後も、看護師をはじめ医療スタッフの確保を引き続き進め、全病棟フル稼働を目指し、平成28年11月に策定した病院改革プランをもとに一層の収支改善、経営安定に取り組んでいく。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。